一つのSDGS□筑波大付属坂戸高校でフードパントリー

「コロナ禍で世の中が暗い日々。坂戸で初のフードパントリーを開いて少しでも世の中の光になりたい」という、筑波大付属坂戸高校の菱沼さん。

菱沼さんは、思い立ったのはいいが、先生をはじめ、無理かもという空気の中、やり遂げたのはやはり「熱意」と「あきらめない気持ち」だ。「熱意」は人を動かす。食材集め、対象者への周知、決して簡単ではないはず。ひとり親世帯の保護者・こども３０世帯分だが、多くの食材が並んだ。

SDGS.□国連が勧める２０３０年までに行う開発目標　虹色の丸いマークバッジがそのためのものだ□sustainable development goals 持続可能な開発目標の一つ、貧困をなくすための試みに、子ども食堂やフードパントリーがある。そこに着目したのが菱沼さんだ。コロナ禍では、自分優先、自己中心になりがちだが、思いやりをもった心には大きな拍手を送りたい。